

山形大学医学部附属病院
看護師特定行為研修

受講者募集要項

(令和8年度)



山形大学医学部附属病院
Yamagata University Hospital

目 次

I 特定行為研修の概要

- 1 山形大学医学部附属病院における特定行為研修の基本理念
- 2 特定行為研修の目標
- 3 特定行為研修の特色
- 4 受講資格
- 5 開講する領域別パッケージ研修と定員
- 6 研修期間と募集時期
- 7 研修内容、時間数及び修了要件
- 8 受講スケジュール
- 9 研修内容の読み替え

II 応募方法

- 1 出願書類の入手方法
- 2 出願手続き

III 選考方法

- 1 選考方法

IV 受講手続

- 1 受講手続と納付金（入講納付金及び受講料）について
- 2 納付先・納付期間について

V その他

- 1 看護職賠償責任保険について
- 2 個人情報の取扱いについて
- 3 問い合わせ先

I 特定行為研修の概要

1 山形大学医学部附属病院における特定行為研修の基本理念

医学・看護の最新の知識を習得し、豊かな人間性と倫理観をもち信頼のある医療を提供できる人材を育成する。

2 特定行為研修の目標

- (1) 多様な臨床場面において状態変化を包括的に早期にアセスメントできる基本的な知識・技術・態度を身につける。
- (2) 医師の手順書による指示を適切に遂行するために、実践的な理解力、思考、判断力並びに高度かつ専門的な知識、技能を身につける。

3 特定行為研修の特色

- (1) 医学部附属病院の強みを活かし、指導医、専門医の資格を有する医師及び専門看護師、認定看護師等の資格を有する看護師等、指導及び実践経験の豊富な教員及び看護師が指導を行う。
- (2) 授業に関しては、共通科目及び区分別科目は e-ラーニングを主体として受講することとなり、院内での受講に加え、自宅においても学修することが可能となる。
- (3) 実習は、豊富な症例実績を有する本院の特性を活かし実践を積むことができる。
- (4) 医学部メディカルスキルアップラボラトリーのシミュレータを利用して、実践さながらの経験を積むことができる。
- (5) 医学部附属図書館の開館時間は、自由に本を閲覧することができる。

4 受講資格

- (1) 日本国内における看護師免許を有する者
- (2) 看護師の免許取得後、通算5年以上の看護実務経験を有する者（応募時）
- (3) 心身共に健康で、研修意欲を有し、所属長からの受講に対する協力及び推薦が得られる者
- (4) 研修修了後は研修の成果を各現場等において実践発揮できる者

5 開講する領域別パッケージ研修と定員

領 域 名	定 員
外科術後病棟管理領域	4 名
術中麻酔管理領域	4 名
救急領域	2 名
集中治療領域	2 名

特定行為区分	特定行為	外科術後病棟管理領域	術中麻酔管理領域	救急領域	集中治療領域
呼吸器（気道確保に係るもの） 関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	○	○	○	○
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの） 関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更	○	○	○	○
	非侵襲的陽圧換気の設定の変更	○	—	○	—
	人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整	—	—	○	○
	人工呼吸器からの離脱	—	○	○	○
呼吸器（長期呼吸療法に係るもの） 関連	気管カニューレの交換	○	—	—	—
循環器関連	一時的ペースメーカーの操作及び管理	—	—	—	○
胸腔ドレーン管理関連	低圧胸腔内持続吸引器の吸引圧の設定及びその変更	○	—	—	—
	胸腔ドレーンの抜去	○	—	—	—
腹腔ドレーン管理関連	腹腔ドレーンの抜去（腹腔内に留置された穿刺針の抜針を含む。）	○	—	—	—
栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理） 関連	中心静脈カテーテルの抜去	○	—	—	○
栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用） 関連	末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入	○	—	—	—

カテーテル管理) 関連					
創部ドレーン管理関連	創部ドレーンの抜去	○	—	—	—
動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血	○	○	○	—
	橈骨動脈ラインの確保	—	○	○	○
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	○	—	—	—
	脱水症状に対する輸液による補正	—	○	○	—
術後疼痛管理関連	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整	○	○	—	—
循環動態に係る薬剤投与関連	持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整	○	—	—	○
	持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整	—	—	—	○
	持続点滴中の降圧剤の投与量の調整	—	—	—	○
	持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整	○	○	—	—
精神及び神経症状にかかる薬剤投与関連	抗けいれん剤の臨時の投与	—	—	○	—

6 研修期間

研修期間 原則1年（受講期間については要相談）
 共通科目を習得後に区分別科目を受講開始する。
 なお、在籍期間は、最長2年間とする。

7 研修内容、時間数及び修了要件

研修は、共通科目及び領域別の区分別科目で構成され、講義、演習及び実習により履修する。
 なお、共通科目は必修科目であり、共通科目履修後に選択領域の区分別科目の受講を開始する。

また、術中麻酔管理領域を受講する研修生は、原則、山形大学医学部附属病院で1年間在院の上研修することとする。（ただし、研修日時は、受講決定後要相談とし、所定休日を除き、原則、平日8:30～17:00とする。）

なお、服務規律及び休日・休暇等の取扱いについては、出向元の就業規則等に従うものとする。）

(1) 共通科目（必修科目）

特定行為における多様な場面において必要な知識及び能力を身につける。

なお、演習は関連する e-ラーニング講義を履修していることを要件とし、実習は関連する講義及び演習を履修していることを要件とする。

また、共通科目の研修期間の目安は6か月とする。

科目	時間数					評価方法
	講義	演習	実習	評価	合計	
臨床病態生理学	29	1	-	1	31	筆記試験
臨床推論	26.5	16	1	1.5	45	筆記試験 実習の観察評価
フィジカル アセスメント	17.5	2	17.5	8	45	筆記試験 実習の観察評価
臨床薬理学	32.5	11.5	-	1	45	筆記試験
疾病・臨床病態概論	37	3	-	1	41	筆記試験
医療安全学/ 特定行為実践	22.5	17	3.5	2	45	筆記試験 実習の観察評価
合計	165	50.5	22	14.5	252	

○共通科目修了の要件

講義（放送授業）：e-ラーニングの受講/確認テスト、添削指導

以下の項目をすべて完了すれば履修完了となる

- ・講義動画を定められた時間数分受講する。（全体の9割）
- ・テストを受講し、100%得点する。

(2) 領域区分別科目

各領域区分別に、多様な場面において必要な知識、技術及び能力並びに医師からの指示に基づく一連の流れを判断する実践的能力を身につける。

なお、区分別科目の受講は、共通科目を修了していることが要件であり、領域区分別科目研修期間の目安は 6 か月とし、演習は関連する e-ラーニング講義を履修していることを要件とする。

実習（患者に対する実技）については、関連する講義及び演習（ペーパーシミュレーション）並びに手技練習（模擬患者の活用、シミュレーターの利用等のシミュレーションによる学習）を履修していることを要件とする。

また、OSCE が必要な区分については実習の前に OSCE に合格していることを要件とする。

実習において実習期間内に必要な症例数が経験できない場合は、実習期間の延長やシミュレーション教育等で対応する。

<外科術後病棟管理領域>

特定行為区分	時間数					評価方法
	講義	演習	実習	評価	合計	
呼吸器（気道確保に係るもの）関連	8	-	5 症例	1	9+ 5 症例	筆記試験 実技試験 (OSCE) 観察評価
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	13.5	2	各 5 症例	1.5	17+ 10 症例	筆記試験 観察評価
呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	7	-	5 症例	1	8+ 5 症例	筆記試験 実技試験 (OSCE) 観察評価
胸腔ドレーン管理関連	10.5	1	各 5 症例	1.5	13+ 10 症例	筆記試験 観察評価
腹腔ドレーン管理関連	7	-	5 症例	1	8+ 5 症例	筆記試験 観察評価
栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	6	-	5 症例	1	7+ 5 症例	筆記試験 観察評価

栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	7	-	5 症例	1	8+ 5 症例	筆記試験 実技試験 (OSCE) 観察評価
創部ドレーン管理関連	5	-	5 症例	1	6+ 5 症例	筆記試験 観察評価
動脈血液ガス分析関連	8	-	5 症例	1	9+ 5 症例	筆記試験 実技試験 (OSCE) 観察評価
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	9	1	5 症例	1	11+ 5 症例	筆記試験 観察評価
術後疼痛管理関連	5.5	1.5	5 症例	1	8+ 5 症例	筆記試験 観察評価
循環動態に係る薬剤投与関連	11	3	各 5 症例	2	16+ 10 症例	筆記試験 観察評価

<術中麻酔管理領域>

特定行為区分	時間数					評価方法
	講義	演習	実習	評価	合計	
呼吸器（気道確保に係るもの）関連	8	-	5 症例	1	9+ 5 症例	筆記試験 実技試験 (OSCE) 観察評価
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	12.5	3	各 5 症例	1.5	17+ 10 症例	筆記試験 観察評価
動脈血液ガス分析関連	11.5	-	各 5 症例	1.5	13+ 10 症例	筆記試験 実技試験 (OSCE) 観察評価
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	9	1	5 症例	1	11+ 5 症例	筆記試験 観察評価
術後疼痛管理関連	5.5	1.5	5 症例	1	8+ 5 症例	筆記試験 観察評価
循環動態に係る薬剤投与関連	8.5	2	5 症例	1.5	12+ 5 症例	筆記試験 観察評価

<救急領域>

特定行為区分	時間数					評価方法
	講義	演習	実習	評価	合計	
呼吸器（気道確保に係るもの）関連	8	-	5 症例	1	9+ 5 症例	筆記試験 実技試験 (OSCE) 観察評価
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	20.5	6	各 5 症例	2.5	29+ 20 症例	筆記試験 観察評価
動脈血液ガス分析関連	11.5	-	各 5 症例	1.5	13+ 10 症例	筆記試験 実技試験 (OSCE) 観察評価
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	9	1	5 症例	1	11+ 5 症例	筆記試験 観察評価
精神及び神経症状にかかる薬剤投与関連	10.5	2	5 症例	1.5	14+ 5 症例	筆記試験 観察評価

<集中治療領域>

特定行為区分	時間数					評価方法
	講義	演習	実習	評価	合計	
呼吸器（気道確保に係るもの）関連	8	-	5 症例	1	9+ 5 症例	筆記試験 実技試験 (OSCE) 観察評価
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	16	5	各 5 症例	2	23+ 15 症例	筆記試験 観察評価
循環器関連	6	1	5 症例	1	8+ 5 症例	筆記試験 観察評価
栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	6		5 症例	1	7+ 5 症例	筆記試験 観察評価
動脈血液ガス分析関連	8	-	5 症例	1	9+ 5 症例	筆記試験 実技試験 (OSCE) 観察評価

循環動態に係る薬剤 投与関連	16.5	2	各5症 例	1.5	20+ 15症例	筆記試験 観察評価
-------------------	------	---	----------	-----	-------------	--------------

○領域区分別科目修了の要件

講義（手技動画）（放送授業・面接授業）：手技動画の視聴/手技練習の観察評価

- ・手技練習の観察評価が合格基準以上であること

演習（面接授業）：ペーパーシミュレーションによるディスカッション・レポート提出/観察評価

- ・演習の観察評価の結果、レポートが合格基準以上であること。

OSCE（実技試験）：シミュレーターを用いた実技試験の実施/OSCE 評価表を用いた観察評価

- ・実技試験の結果が合格基準以上であること。

実習（面接授業）：患者に対する実技/評価表（DOPS）を用いた観察評価、レポートへのフィードバック

以下の項目をすべて完了すれば履修完了となる。

- ・患者に対する実技を5症例以上行うこと。
- ・実習の観察評価の結果、手技が合格基準以上であること。

試験（筆記試験）：修了試験の実施

- ・修了試験の結果が合格基準（6割）以上であること。

8 受講スケジュール（例：4月入学の場合の一例）

	4月上旬	入講式・オリエンテーション
共通科目 (4領域共通)	4～9月	講義・演習・実習・修了試験 ※原則、eラーニング上の受講とするが、演習及び実習を伴う科目については、来院の上受講とする。 なお、実施日程については別途調整の上連絡する。
術中麻酔管理 領域のみ		見学実習
区分別科目	10～2月	講義（手技動画）・OSCE・演習・実習 ※具体的な日程については、実習開始に伴うオリエンテーション実施時に提示する。
	2月上旬	区分別科目試験
	3月下旬	研修修了式

9 研修内容の読み替え

専門看護師教育課程、認定看護師教育課程、その他大学院等で既に履修した授業科目や時間数の取り扱い並びに受講時間数については、関連する科目の受講にあたり、当研修の教育内容に相当すると本院看護師特定行為管理委員会で判断された場合に限り考慮する。

II 応募方法

1 出願書類の入手方法

出願書類一式は、山形大学医学部附属病院ホームページからダウンロードすること。

2 出願手続き

(1) 出願提出書類

- ①入講願書（別記様式1）
- ②履歴書（別記様式2）
- ③入講志願理由書（別記様式3）
- ④推薦書（別記様式4）
- ⑤職務経歴書（別記様式5）
- ⑥看護師免許（写）※A4サイズで印刷し提出してください。

(2) 出願書類提出方法

直接持参するか、「郵便書留」で下記住所へ郵送してください。

〒990-9585 山形市飯田西二丁目2-2 山形大学医学部総務課労務担当

(3) 出願期間

令和8年1月13日～令和8年2月13日(必着)

なお、出願期間後も定員に余裕がある場合は、募集を継続する場合があります。

Ⅲ 選考方法

1 選考方法

書類選考とする。ただし、定員を超過した場合、または、本院が必要と認めた場合は、面接を実施する場合がある。

選考結果については、本人宛て簡易書留速達にて郵送する。

Ⅳ 受講手続

1 受講手続と納付金(入講納付金及び受講料)について

受講予定者に受講手続についての詳細を御案内する。

なお、受講料は、受講手続後に送付される専用の請求書により振込むこと。(振込手数料は振込者が負担する。)

○受講料

領 域 名	受講料 (消費税込み)
外科術後病棟管理領域	897,500円
術中麻酔管理領域	667,000円
救急領域	647,100円
集中治療領域	673,600円

V その他

1 看護職賠償責任保険について

研修受講決定者は、研修開始時点で日本看護協会看護師賠償責任保険等の賠償保険への加入を義務付ける。

なお、研修開始後、受領証のコピーを提出すること。(既に他の保険へ加入している場合は別途相談)

2 研修期間中の来院に伴う交通費および自家用車利用に伴う構内駐車場の使用について

研修期間中の来院に伴い発生する交通費および自家用車利用に伴い構内駐車場利用時に発生する駐車料金については、受講者負担とする。

なお、構内駐車場の利用を希望する場合は、別途、使用許可申請手続きが必要なため、事前に申請すること。

ただし、入講式への出席等当院の指示に基づき来院する場合は、この限りではない。

3 個人情報の取扱いについて

山形大学医学部附属病院では「個人情報の保護に関する法律」を遵守し、個人情報の適正な取扱いに努め、安全管理のために必要な措置を講じております。出願及び受講手続にあたって提供いただいた個人情報は、選考試験の実施、合格発表、受講手続及び履修関係等の必要な業務においてのみ使用いたします。なお、当院が取得した個人情報は、法律で定められた適正な手続により開示を求められた場合以外に、本人の承諾なしに第三者へ開示・提供することはありません。

問い合わせ先

山形大学飯田キャンパス事務部総務課労務担当

〒990-9585 山形市飯田西二丁目 2-2

TEL 023-628-5012 (直通)

FAX 023-628-5019

E-mail yu-isoroumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp